

2013年  
新年号

～ 加戸病院通信 第45号 ～



ハンド イン ハンド

hand in hand



医療法人弘友会  
加戸病院

〒791-3301 愛媛県喜多郡内子町内子 771 番地 TEL : 0893-44-5500 FAX : 0893-44-3300  
E-mail : koyukai@kato-hp.jp URL : http://kato-hp.jp/

## 年頭のご挨拶

『明けまして  
おめでとうございます』



・（医）弘友会副理事長  
・加戸病院院長  
・外科・肛門科医長  
か と しゅういち  
加戸 秀一

明けましておめでとうございます。

昨年末は総選挙での保守圧勝で幕を閉じました。

前回の選挙では、国民が閉塞した日本からの変化を期待して民主党が圧勝しましたが期待に応えられずに今回は惨敗しました。錬金術師のように実現が不可能に近いマニフェストを簡単にできるように言っていたわけですから当然の結果だと言えます。

一昨年の大震災の影響や民主党政権に対する失望により国民ののぞみの変化から安定へ大きく振れました。ただ私個人としては、安定しながらも確実に良い方向への変化は常に必要だと思っています。

毎年の事ですが、今年も弘友会の今までに培ってきたものを守りながら小さいながらも良い方向へ変化していきたいと思えます。

その一つとして、これまで待ち時間短縮のため予約制をとっていることから来院された患者さんの診療をお断りすることが度々ありました。今後は受付時間内に来院された方は待ち時間が長くなるかもしれませんが原則として診察することといたします。

患者さんにとって良い診療を行うためにはかかりつけ医のある方は紹介状を持参していただくか、診療所や薬局のお薬手帳または薬剤情報提供書あるいは服用中のお薬を持参していただくと大変参考になります。

これからも弘友会の地域貢献の理念を大切にまいります。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



# 第11回 弘友会研究発表大会 (H24.11.19)

老人保健施設フレンド事務部 宇都宮 幹人

平成24年11月19日、加戸病院研修室において第11回弘友会研究発表大会が開催されました。平成23年度は加戸病院が内子町移転のため中止となり、2年ぶりの大会でした。病院移転に伴いテレビ会議システムを導入し、モニターを通して大洲の老人保健施設フレンドで35名参加しました。また、近隣の事業所からも14名参加していただき、合わせて133名で前回より多い参加人数となりました。ありがとうございました。

まず加戸院長より、どう気づきどう対処してきたかに重点を置いた評価を行うという挨拶があり、早速、座長の城戸医療技術部長の進行で演題発表に移りました。



今年は、計6演題の発表となりました。加戸病院からは3演題あり、療養病棟は、「入院患者の体験をしてみよう」で、入浴の際に利用するリフト浴用ストレッチャーとリフト浴および車椅子入浴装置を職員が患者さん役となり入浴し、今後気をつけたいことを発表しました。リハビリ科からは、「在宅へ向けての地域との連携」で、加戸病院が内子町に移転したことで、内子町という地域性を把握し今後どのような取り組みをすれば地域への貢献や繋がりを持つことができるかを考察する発表でした。検査・外来からは、「ご存じですか？SAS治療の有効性」で、SAS(睡眠時無呼吸症候群)の治療にはCPAP(経鼻的持続陽圧呼吸法)が有効であることを検証した発表でした。老人保健施設フレンドからは2演題でした。2階療養棟からは、「日常生活での楽しみを探して」で、認知症のご利用者に、施設生活の中で人とかわり楽しみを見つけることで生きがいや認知レベルの低下につながったことを報告した発表でした。3階療養棟からは、「在宅復帰に向けて



の取り組み」で、ご利用者・ご家族の『家』へ帰りたいという要望に応えるため、ADLの向上や精神面のケアにも気を配りリハビリに取り組んだ結果、在宅復帰につながった事例の発表でした。

加戸病院の関連施設である、大洲の社会福祉法人友愛会特別養護老人ホーム希望ヶ丘荘からも発表があり、「コスト削減の取り組み」と題し、重油高騰のため常用自家発電機を非常用に変更したことや職員の省エネの意識づけにより、年間約380万円のコストを削減できたことの報告がありました。各グループともそれぞれ部署の特徴を生かした内容で課題に取り組み、その成果を発表しました。発表後の質疑応答では、近隣の事業所の参加者等からも活発な意見・質問をいただき、テレビ会議システムを通してフレンドとの意見交換も行われました。

審査の結果で、最優秀賞は大会初の2チームで、希望ヶ丘荘と加戸病院療養病棟となりました。

今後も日々業務の中で、常日頃から問題意識を持ち、改善し、実績を出して、それを発表することで組織全体が活性化すればよいと思います。



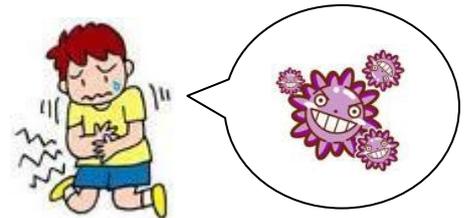
# 《 栄養だより 》

加戸病院 栄養科  
管理栄養士 神野 愛子

近年、冬場になると「ノロウイルス」という言葉を聞く機会が増えていると思います。ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、健康な若い人なら軽症で済みますが、高齢者や乳幼児では症状が重くなることもあり注意が必要です。

今回はノロウイルスについて特集し、少しでも感染を広げないよう予防方法をご紹介します。

## 《ノロウイルスとは？》



- 特徴**
- ・人の腸管内のみで増殖します。
  - ・感染力が強く、少量（10個～100個）でも発症します。
  - ・ノロウイルスに一度感染した患者でも、繰り返し発症・感染します。

- 感染経路**
- ・貝などによる食中毒
    - ⇒ノロウイルスを内臓に蓄積した貝（二枚貝）などを十分に加熱しないまま食べることにより起こります。
  - ・人から人への感染
    - ⇒感染者（症状が出ていない人も含む）が十分に手を洗わないで調理し、その食品を介して感染が広がることがあります。また、感染者の吐物や便に含まれたウイルスが付着し、人から人へ感染することもあります。

- 症状**
- ・感染約1～2日後に吐き気、嘔吐、下痢などの症状が現れます。
  - ・自覚症状がなくなってもウイルスの排泄が続くことがあります。

## 予防方法

- ・加熱が必要な食品はしっかり加熱しましょう。
  - ⇒食品の**中心温度 85℃以上で1分間以上**の加熱を行えば感染性はなくなるといわれています。
- ・徹底した手洗いを心がけましょう。
  - ⇒**爪の間、指先、指の間、親指の周り、手のしわ、手首**などは汚れが残りやすいので注意しましょう。
  - ⇒手を拭くタオルは共用せず、**ペーパータオルを使うか、個人用のタオル**を使いましょう。



## ご意見をお寄せください

当院では、診察待合ホール・3階及び4階病棟デイルームにご意見箱を設置しています。皆さんからお寄せいただきましたご意見、ご提案については真摯に受け止め、病院として対応策を検討し、より良い病院づくりを目指すよう努めてまいります。

また、ご意見箱のほか1ページに記載のホームページやメールでお寄せいただいても結構です。今後ともお気づきの点がございましたら、ご遠慮なくお寄せください。

《ご意見》午後9時以降は正面駐車場のライトが消えるため、夜間帯に車を探すのが難しい。真っ暗なため高齢の方が歩くのは危険です。深夜もある程度の照明をつけてください。

《改善策》午後9時以降ほとんどの外部照明が消えるようにしているためご迷惑をおかけして申し訳ありません。建物の外壁数ヵ所と敷地入口の標識の照明、正面駐車場の夜間出入口への案内標識の照明を夜明けまで点灯する工事を行うことにしています。

《ご意見》急に寒くなりましたので、特に朝方2時位に室温を2℃位上げていただけませんか。それと同時に寝具や布団の確認をお願いしたいと思います。勝手に申しますが、よろしく願います。

《改善策》地球温暖化防止と省エネのため暖房は原則20℃、上限22℃、裸になるレントゲン撮影室等は24℃としています。夜間も同じ温度ですが、寒いときは湯たんぽや電気毛布その他の方法でご満足いただけるように対応いたしますので看護師にお申し出ください。



## 外来担当医

平成25年1月1日

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	平澤		宇都宮	平澤	平澤	入田 淡野または谷川
	午後			宇都宮			
外科	午前	下田	下田	下田	加戸	加戸	加戸または下田 (隔週)
	午後 16:30~17:00	下田	加戸 16:00~ (手術の時は変更)	加戸	下田	加戸 16:00~ (第2金曜休診)	
整形外科	午前	城戸 鴨川(第1月曜) 完全予約制	柴田	城戸	城戸	城戸	柴田
	午後 16:00~	城戸	柴田 (予約のみ)				
脳神経外科	午後				穴戸		

※ 手術などのため、変更になる場合があります。